

致知

2007年12月号 目次
表紙の人・石川洋氏・坂岡嘉代子さん

誌名の由来 これは中国の古典『大学』に出てくる有名な言葉である。
『致知』とは人間本来の英知を明らかにし、現代人に欠ける『知行合一』の精神をいう。

●特集●

「喜びの種をまく」

●巻頭の言葉● 4
人の生き方には二通りある
鍵山秀三郎
イロハット相談役

●対談● 10
一人には一人の光がある
その内なる光を育む
石川洋 托鉢者 & **坂岡嘉代子**
はぐみ家の家代表

●トップインタビュー● 20
我が熱湯経営の歩み
樋口武男
大和ハウス工業社長・CEO

●対談● 28
松下幸之助とリッツ・カールトンに学ぶ
サービスの極意
上甲晃 志ネットワーク代表 & **高野登**
ザリッツカールトンホテルカンパニー日本支社長

いかで撓まん撓むべきかは 38
日本障害児教育の母・石井筆子の人生
山田火砂子 現代館のたくしん社長 映画監督

「インタビュー／喜びの種をまく」

①人は誰でも主役になれる 42
横石知二 S&J副社長

②世の中の人々の幸せのために
この仕事がありますように 46
捧賢一 コメシ会長

③日本の未来のために希望の種をまく 50
クマが棲む森林再生に捧げる人生
森山まり子 日本熊森協会会長

夢や目標に向かって
人生を100%使い切る勢いで生きる 56
鈴木良美 岡崎市立梅園小学校教諭

●対談● 60
二宮尊徳の生き方が教えるもの
よき種をまけば、よき実りがある
立花直 二宮金次郎の会代表 & **寺田一清** 不尽叢書刊行会代表



横石知二

「どんなに豪華な施設をつくっても、それは本当の福祉じゃないと思う。本当の福祉は生きがいを与えることです」(P.45)



樋口武男

「人がよい仕事をするには『誰のために』という錦の御旗みたいなものが必要なんです。僕は第三者の人から『オーナーも喜んでいましたよ』と言われた時が一番嬉しかった。このオーナーにできていけないといかんと……。それが人の道です。人の道を外したら、運は遠のいていくと思っています」(P.27)